

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かって 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
安心して快適に暮らせる まちの創造 【成果指標】・・・H31年度に ・快適に暮らせると感じる人の割合 83.0% (H31年度) 83.2% (H30年度) 85.0% (R6年度)	Society 5.0の実現	・公共サービスアプリ利用者数 ・タブレットアプリ年間講座受講者数 ・リテラシー向上にかかる講座等の受講者数 ・マイナンバーを活用したサービス件数	人 人 件	600 (H26年度) 400 (H26年度)	1,800 (R1年度) 500 (R1年度)	2,390 (H30年度) 273 (H30年度) 3 (H30年度)	4,000 (R6年度) 500 (R6年度) 10 (R6年度)	・証明書等取得の利便性向上 ・データ公開、アプリ活用の推進 ・入札参加者の利便性向上 ・税金等の納付における利便性の向上 ・デジタルガバメントの実現 ・データの利活用	・さばe市マイポータル構築事業 ・AIチャットボット導入事業 ・オンライン申請推進事業 ・マイキープラットフォーム推進事業 ・キャッシュレス化推進事業 ・証明書のコンビニ交付事業 ・ガバメント2.0さばれぼ事業 ・電腦メガネ観光サポート事業 ・ITに親しむ講座事業 ・IT推進フォーラム開催事業 ・電子入札運用事業 ・クレジットカード納付事業 ・マイキーID設定支援事業
	コンパクトシティの推進	・中心市街地周辺の人口 ・居住誘導区域内の人口 ・道の駅「西山公園」の年間来場者数 ・西山動物園年間来園者数	人 千人 万人 万人	2,044 (H26年度) 52.8 (H26年度) 17.9 (H26年度)	2,000以上 (R1年度) 60 (R1年度) 20 (R1年度)	1,928 (H30年度) 38.2 (H30年度) 38.0 (H30年度) 19.8 (H30年度)	 38.2 (R6年度) 38.0 (R6年度) 20 (R6年度)	・居住や都市機能の誘導 ・中心市街地の活性化 ・パークシティの推進 ・西山公園の充実	・立地適正化計画の策定推進 ・中心市街地活性化基本計画の策定 ・(再掲)サテライトオフィス誘致事業 ・生涯活躍のまち(日本版GGR)の検討 ・仮称「西山公園・鯖江IC連絡道路」整備の検討 ・新規都市再生整備計画事業 ・西山動物園充実(レッサーパンダの聖地化)事業 ・西山動物園30周年記念事業 ・西山公園開園160周年事業 ・西山公園施設改修事業 ・西山公園イルミネーション事業
	どこにでも歩いて行ける幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	・つつじバス年間利用者数 ・福武線市内駅年間利用者数 ・公共交通機関が充実していると感じている人の割合	万人 万人 %	18.8 (H26年度) 48.2 (H26年度) 78.1 (H24年度)	20 (R1年度) 52 (R1年度) 80 (R1年度)	14.4 (H30年度) 47.4 (H30年度) 58.7 (H30年度)	14 (R6年度) 47 (R6年度) 60 (R6年度)	・幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成	・鯖江市地域公共交通網形成計画策定事業 ・鯖江市地域公共交通再編実施計画策定事業 ・コミュニティバス運行事業 ・福井鉄道福武線支援事業 ・JR鯖江駅利用促進事業 ・北陸新幹線開業に向けた並行在来線の検討 ・(再掲)シェアリングエコノミー推進事業

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かって 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
	みんなでつくろう強 弱 で安全・安心なまち	・自主防災活動実施率 ・防災リーダー養成者数 ・一斉配信メール登録者数 ・河川施設の整備率 ・雨水幹線等の整備率 ・上水道耐震管路の整備率 ・上水道重要管路の耐震化 ・橋梁長寿命化に伴う修繕箇所数 ・民間住宅の耐震改修件数	% 人(累計) 人 % % % % 箇所 箇所	71.5 (H26年度) 234 (H26年度までの5ヵ年) 1, 770 (H26年度) 59.5 (H26年度) 44.6 (H26年度) 55.0 (H26年度) 2 (H26年度) 3 (H26年度)	80 (R1年度) 400 (R1年度までの10年) 3, 500 (R1年度) 62.1 (R1年度) 45.6 (R1年度) 61.9 (R1年度) 2 (R1年度) 3 (R1年度)	72.5 (H30年度) 379 (H26年度までの5年) 5, 450 (H30年度) 60.9 (H30年度) 45.4 (H30年度) 61.7 (H30年度) 2 (H30年度) 3 (H30年度)	80 (R6年度) 559 (R6年度までの15年) 7, 250 (R6年度) 46.6 (R6年度) 46.6 (R6年度) 2 (R6年度) 3 (R6年度)	・防災・防犯対策の推進 ・消費者保護の推進 ・交通安全の推進 ・浸水被害総合軽減事業 ・上水道耐震管路の整備(更新) ・公共インフラの長寿命化 ・民間住宅の耐震改修 ・賢い消費者育成事業 ・交通安全推進事業 ・運転免許自主返納推進事業 ・自転車通行帯の環境整備事業 ・一級河川整備事業 ・雨水幹線等整備事業 ・田んぼダム事業 ・上水道重要管路の耐震化事業 ・公共施設等総合管理計画の策定 ・橋梁長寿命化事業 ・社会資本整備総合交付金事業 ・道整備推進交付金事業 ・市営住宅長寿命化推進事業 ・下水道施設の長寿命化 ・木造住宅耐震改修事業	
	市民と共に“まち美化”の推進 〜きれいで、魅力的で、オシャレなまち 環境にやさしい魅力的なまち	・ごみの1人1日当たりの排出量 ・資源化率 ・まち美化活動取組み団体数 ・外来植物防除活動取組み箇所 ・道路・河川里親の登録数 ・公園里親の登録数 ・良好な景観の選定 ・公園整備市民協同事業数	g % 件 箇所 団体 団体 箇所(累計) 箇所(累計)	955 (H26年度) 14.9 (H26年度) — 36 (H26年度) 78 (H26年度) 70 (H26年度)	870 (R1年度) 17 (R1年度) 5 (R1年度) 3 (R1年度) 41 (R1年度) 88 (R1年度) 100 (R1年度)	920 (H30年度) 12.3 (H30年度) 6 (H30年度) 5 (H30年度) 36 (H30年度) 92 (H30年度) 100 (H30年度)	810 (R6年度) 17 (R6年度) 5 (R6年度) 5 (R6年度) 46 (R6年度) 98 (R6年度) 17 (R6年度)	・自然環境の保全 ・公害の防止 ・循環型社会の推進 ・地球温暖化防止対策の推進 ・環境市民の育成 ・美化活動の推進 ・道路・河川・公園の保全 ・景観に対する住民意識の高揚 ・eこころ普及・さばえエコ育成事業 ・ふる里さばえ美化ピカ活動支援事業 ・外来植物防除活動支援事業 ・日野川を清く美しくする会支援事業 ・道路・河川・公園里親制度の普及促進事業 ・花によるまちづくりコンクール開催事業 ・景観コンテスト等事業 ・鯖江百景PR促進事業 ・県道鯖江停車場線(JR鯖江駅前)電線類地中化事業 ・街路樹の整備事業 ・公園整備市民協働事業	

%
人(累計)

人

%

%

%

箇所

箇所

71.5 (H26年度)
234
(H26年度までの5ヵ年)80 (R1年度)
400
(R1年度までの10年)72.5 (H30年度)
379
(H26年度までの5年)80 (R6年度)
559
(R6年度までの15年)

・防災・防犯対策の推進

・消費者保護の推進

・交通安全の推進

・浸水被害総合軽減事業

・上水道耐震管路の整備(更新)

・公共インフラの長寿命化

・民間住宅の耐震改修

・自主防災組織育成事業

・防災リーダー養成事業

~~・(再掲)ガバメント2.0さばれぼ事業~~

・一斉配信メール推進事業

・防犯隊活動事業

・空き家等対策事業

~~・地域おこし協力隊による空き家再生等推進事業~~

・賢い消費者育成事業

・交通安全推進事業

・運転免許自主返納推進事業

・自転車通行帯の環境整備事業

・一級河川整備事業

・雨水幹線等整備事業

・田んぼダム事業

・上水道重要管路の耐震化事業

・公共施設等総合管理計画の策定

~~・橋梁長寿命化事業~~~~・社会資本整備総合交付金事業~~~~・道整備推進交付金事業~~~~・市営住宅長寿命化推進事業~~

・下水道施設の長寿命化

・木造住宅耐震改修事業

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
安心で快適に暮らせる まちの創造 【成果指標】・・・H31年度に ・快適に暮らせると感じる人の割合 83.0% (H31年度) 83.2% (H30年度) 85.0% (R6年度)	Society 5.0の実現	・【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用					
	コンパクトシティの推進		・デザイン施策を打ち出す ・文化や歴史を大切にしたい鯖江らしいまちに(リトル東京はいらない) ・自然が豊かで、リニアが通れば交通利便性もよくなるので、このままでよい ・住みにくいところには住まなくてもよい ・必要なところには整備をし、そうでないところでは自然の豊かさを守るべき		・鯖江はこのままコンパクトで行政効率の良い方が合併するよりも住みやすいと思う。 ・一戸建てには3、4人世帯での入居が多いので一戸建てを全力で増やすべき。	・まちなかをどうしていくのかという青写真がないのは問題。 ・鯖江は夜のコミュニティが少ないし見えないので、多様な人たちの交流を促すために、誰もが自由に集えるよう、鯖江のシャッター商店街を開放して小さい片町を作る。 ・コンサート客など県外から来訪者視点で、ホテル、地下駐車場、飲食店の誘致が必要、サンドーム周辺に新駅を設置してはどうか ・JR鯖江駅前について、県外の人々が、なぜ駅前が駐車場になっているのか、フリースペースなどにぎわい広場や休める場所、周辺を歩けるようになっていくといいのではと言っていた。	・中心市街地が求めているのは定住人口の増。定住人口が増えれば客も増える。 ・コンパクトシティを推進し、行政コストを下げるため、優遇措置をとるなど誘導すべき。 ・中心市街地に若い子育て世代に住んでもらえるようインセンティブを与える施策を。 ・商店街の周辺も同じように人口減少・高齢化の傾向にある。 ・給食費をタダにしたことで、その小中学校区の人口が増えたという話がある。 ・空き家がこれ以上増えることは駅前としてみっともない。 ・空き店舗に人を入れてくてもあの状況(老朽化)では安全・安心の面からも入らなくなってくる。 ・空いている土地も建物もあるが動かないので、物件の活性化を図るべき。 ・5～10年後には片上など東部で小学校の統廃合の話が出てくるので、それに応じて住宅の再配置や交通アクセスも考えないといけない。 ・20年後には限界集落も出てくるので、行政コストのことを考えると、街中に住んでもらうことを10～15年の間にビジョンとしてもたないといけない。 ・鯖江インターと西山公園を結ぶ道路は、西山公園でT字路になっているので、それほど便利とは思えない。
	どこにでも歩いて行ける幹線交通網の変化を見据えた二次交通網の整備	・移動手段の確保の強化	・北陸新幹線は、大阪までつながらない限り鯖江にはマイナス。むしろ、冠山峠道路の開通が重要。			【コミュニティバス関連】 ・コミバスの路線が少ない →UBERの活用、ワゴン車の活用、デマンドにする、乗合タクシーの導入 ・バス停が遠い、時間が合わない、運転手の給与が安い、夜間の利用ができない、料金の支払いが面倒 →鯖江一片町便を開設(10人以上で乗合2,000円／人、23:00～24:00、1:30～2:30で運行)	・鯖江駅の乗り降り数を減らさないよう、交通アクセスをどうするかを検討しないといけない。 ・県議会でサンドーム駅をとの議論もあった。 ・サンドームがいつまでも使われるかは疑問で、サンドームに駅は必要ないと思う。 ・特急が止まらなくなると、鯖江市民は通勤など福井に向かうと思うので、南越駅よりも福井へ新幹線に合わせて快速を走らせれば影響はあまりないと思う。 ・長い目線で見た時、鯖江は福井のベッドタウンでいいのではないか。 ・コミバスには河和田線を中心に通勤などで乗る人は結構いるので、周知もすれば観光の足としてもいいのでは。 ・南越駅に降りてもらわないといけない。駅のある武生は栄えて、鯖江は衰退していくのが見えている。 ・新幹線の駅があるが全ては停車しない黒部には乗降客は少なく寂しい。客は富山や金沢に集まっており、その近くの市もにぎやかになっているので、福井に近い鯖江は賑やかになり、南越駅も寂しくなると思う。

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがふび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
	みんなでつくろう強 ^黄 靱で安全・安心なまち						
	市民と共に“まち美化”の推進 〜きれいで、魅力的で、オシャレなまち〜 環境にやさしい魅力的なまち				・鯖江はものづくりのまちとして経済ベースで語られるが、そういった都会的な部分とともに田舎らしさ(自然、エネルギー)の部分の両方を入れていかないと鯖江の計画らしくない。		

鯖江市総合戦略 体系図

	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
その他全体に関わる内容	・女性のエンパワースメントを地域のエンパワースメントに ・【国の新たな視点】SDGsを原動力とした地方創生 ・【国の新たな視点】女性、高齢者、障がい者など誰もが活躍できる社会 ・【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用	・多様性を認める。人権を尊重する ・弱者(障がい者。外国人)も住みやすい移動手段や教育を担保 ・未婚の中年男性、外国人の女性が抵抗なく地域行事に参加できる環境 ・魅力あるまちであるためには、鯖江のようにデメリットを恐れず尖った事業を開拓することが必要 ・女性の活躍、後継者問題、若者の東京集中に対して、多様性を認め、寛容になりつつ鯖江らしさを作っていく	・市の施策についてPRが足りず、市民の理解が不十分。	・福井と武生をつなぐハブ的な自治体になれば福井県全体が盛り上がるし、嶺北視点で動けばもっといろんなことができると思う。 ・フォアキャストでなくバックキャストで作成した計画をいかに作るか。 ・あまり高い目標を置くのではなく、人口が減ることを受け止めた上で、それでも住みやすい鯖江をいかに目指していくかの方が良い。 ・計画を立てても実行する人がいないと意味がない。		・地元の人が喜ぶ、便利な、幸せなまちであることが一番である。